学校番号	２１０

令和３年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	ＭＯＵＳＡ　１　（教育芸術社）						
副教材等	ＭＵＳＩＣ　ＮＯＴＥ						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌唱」「器楽（楽器演奏）」「創作（音楽理論・作曲など）」「鑑賞（音楽史含む）」の４つの分野で年間通じて学習します。
・学習の到達度は、実技テスト、提出物、ペーパーテストで評価します。
・音楽の学習では、個人の音楽的な諸能力を伸ばすだけでなく、合唱や合奏など他の人と一緒に演奏することにより、協力して一つの音楽を作り上げる体験をすることができます。
・音楽を学ぶことが、演奏技術や音楽的感性を伸ばすことだけでなく、生涯にわたって音楽を愛好していく態度や姿勢を養えることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通じて、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化について理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持っている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技術を身に付け、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさ創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察、 プリント	観察 プリント 演奏の聴取 ペーパーテスト	実技テスト 作品の提出	観察 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	基本的な発声	【歌唱】 校歌「香里丘高校」 「翼をください」 「少年時代」 「花」	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージを持って歌うことに主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を理解して、それらの働ききが c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。	観察 演奏の聴取
1	リコーダー二重奏	【器楽】 「見上げてごらん夜の星を」	○	○	○		a：アルトリコーダーの基本奏法を確認しながら、正確に演奏できるように主体的に取り組む b:曲種にあった表現をめざす c:豊かな表現をめざす。	実技テスト
2	合唱グループ発表	【歌唱】 「ぼくは　ぼく」	○	○	○		a：ソプラノ、アルト、男声でそれぞれのパート練習を意欲的に取り組む。 b:曲種にあった発声がめざす。 c:ハーモニーや歌詞について豊かな音楽表現をめざす。	演奏の聴取
2	ギターコード演奏	【器楽】 「大きな古時計」 【創作】 ギターコードの理解	○	○	○		a：基本的なコード奏法を主体的に取り組む b:コードの音楽理論の基本を理解して、演奏で音楽的な進行を味わう。 c:基本的な奏法から、弾き語りを行い、豊かな音楽表現をめざす。	実技テスト ペーパーテスト

3	鑑賞	【鑑賞】 「ボレロ」	○			○	a：管弦楽扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴などに関心を持ち、主体的に取り組む d:音楽を形作っている要素を理解し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気等を感受しながら、音楽に対する理解を深める。	観察 プリント レポート
3	発声の発展	【歌唱】 「Caro mio ben」 「Tonight」	○	○	○		a:外国語の歌をテーマに取り組み、異文化を理解するともに主体的に取り組めること。 b:発声の応用として、ベルカント唱法を目標にして、曲種にあった豊かな表現をめざす。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。	実技テスト

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は、a,b,c の３観点で、「鑑賞」の分野は一つの a,d の２観点で評価する。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。